

2014年4月30日

富士フイルムホールディングス株式会社

2013年度 決算説明会

主な質疑応答

Q1: 2013年度のフリー・キャッシュ・フローが対前年で約3倍となっているが、その要因は？

A1: 為替の円安効果もあり当期純利益が増加したこと、それに加えて全社を挙げての棚卸資産削減効果も寄与した。なお、棚卸資産削減は今後も継続して実施していく。

Q2: 2014年度の配当予想は？

A2: 現時点では未定。経済情勢の不安定要素や今後の業績などの状況を見ながら、当社株主還元方針である配当性向25%以上も考慮しつつ、決定次第開示を行う。

Q3: デジタルカメラについて2013年度の販売台数及び下期の業績はどうだったのか？また、2014年度の業績見通しは？

A3: 2013年度のデジカメ販売台数業績は460万台、また下期業績はXシリーズの拡販と固定費削減効果によりほぼブレークイーブンとした。2014年度も同施策の一層の推進により、通期での黒字化が達成できる見通し。

Q4: 2014年度営業利益の対前年での増加要因は？

A4: 営業利益トータルで200億円の増加を見込んでいるが、原材料のコストアップ等による100億円のマイナス要因と、ドキュメントやヘルスケアの伸長やデジカメ事業の損益改善等による300億円のプラス要因を想定している。

以上